

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	京丹後市 網野地域家庭教育支援チーム (呼称:ほのぼの倶楽部あみの)
活動開始年度	平成21年度
活動拠点	京丹後市網野地域公民館
活動範囲	網野中学校区
活動財源	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<u> 10 </u> 人 元教職員 2人、支援団体・NPO法人関係者 7人、その他 1人
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input checked="" type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() 保育所・幼稚園・小中学校等での子育て交流会「子育ておしゃべり会」 子育て広場「ほのぼのルーム」(各地区の子育てサロンの協力を得ながら 各年度毎に会場を設定し町内外の親子の憩いの場、学習の場を提供 子育て支援センターでの高校生と赤ちゃんのふれあい交流事業 小学校での手紙で結ぶ家族の絆事業 子育て相談室 家庭教育支援チームだより「ほのぼの」の発行 家庭教育支援チーム定例会
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、幼稚園、保育所に出向き、「子育ておしゃべり会」を開催することで保護者同士、子育てについて考え、見つめ直す機会となり、「子育てについて交流する意義」を感じてもらっている。 ・子育て広場では参加者が多くあり、親子のふれ合い促進とともに親同士の語らいの場としての機能も果たしてきている。

活動において苦労した点や課題	<p>子育てを取り巻く環境は、年々、地域の過疎化や核家族化が進むなかで、育児等に相談する相手がいなくて一人で悩んでいたりと、共働きにより子供に接する時間が少なく、子育てに対する不安を感じているお母さんが増えてきている。</p> <p>このため、「子育ておしゃべり会」の実施など、子育て支援の取り組みを進めているが、お母さんが日頃のストレスを発散したり、楽しく情報交換できる活動を、さらに充実、発展していく必要があると感じている。</p> <p>そして、子育てに不安や悩みを持つ女性の相談を受けたり、アドバイスをするなど、現在取り組んでいる活動のフォローアップについても、今後検討したいと考えている。</p>
今後の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も学校、幼稚園、保育所等と連携しながら、必要とされる事業を展開していく。 ・今後も親子で楽しめる内容を考え、広くお知らせしながら、誰でも気軽に参加してもらえる場を提供していく。 ・定例会を設定することで事業の充実を図るとともに、地域の中の子育てサポーターとして身近に求められていることを共有し合い、タイムリーに対応できる力量を付けていく。
問合せ先	<p>(部署・氏名等)京丹後市教育委員会事務局 社会教育課 網野地域公民館 (TEL)0772-69-0663 (E-mail) amino-komin@city.kyotango.lg.jp</p>